

まちの“こと”、自分の“こと”、一緒に考えよう。さろま町の議会だより

# コトコト

2025 No 144

議会だより「コトコト」  
とりあえず読んでみての巻

1つ・・・

良いものは良い！ダメなものはダメ！、  
町のため、町民のためになるか議会で  
しっかり考え、行政へ皆さんの声を伝  
えて議会を進めていきます！



1つ・・・

予算が適正に、効果的に使われている  
か、しっかりとチェックし議会の役割  
を果たします！



1つ・・・

住みやすいまち、いつまでも住みたい“最高  
のさろま”を目指して議員一同走り続けます！



## 今回の表紙 佐呂間町議会誓い

令和7年8月26日、町議会議員9  
名が当選しました。定数を割ること  
となり、欠員1名でのスタートとな  
りますが、町民の皆さんのため、住  
み良いまちを目指して走り続けます  
！よろしくお願いします♪

## 今回の内容

まちのお話 第3回定例会一般質問  
// 令和6年度決算審査  
トラットリアさろま議会  
議員が考える住みやすい“さろま”  
SAROMA TOWNFILE

# まちのお話 第3回定例会一般質問

質

答

①新庁舎建設も含め、今までの継続事業やこれからの新規事業、今後のインフラ、行政サービスの維持整備において数年先、数十年先を見据えた各会計や各種基金の推移について町としてどう捉えているか？

数年先については R8 ～ 12 を計画期間とする第 5 期総合計画の後期にあたり、佐小・中の大規模改修、特養移転新築工事など多くの事業が計画され、実際には実施有無を含む精査が今後行われますが、仮に全てを実施した場合の起債を含めても将来負担比率は算定なしとなる基金残高があり、安定した財政運営が見込まれるところです。数十年先については明確な回答ができませんが、引き続き健全な財政運営に努めていきます。基金の推移は、現在公共施設整備基金、財政調整基金併せて約 47 億 5,000 万円、毎年債権利息 600 万円等があり、今後も有利な運用に努めていきます。

人口減、施設の老朽化など多くの課題がある中、行政サービス、公共料金、町財政の今後とは？

高橋紀久 議員

質

答

③物価や人件費が高騰している中、今後の財政状況を見据えた上で、公共料金の値上げや行政サービスの形態の変更、利用状況から判断した取りやめを行うサービスまたはそうした検討が必要になっているものはあるのか、また、財政的な問題は無くても時代に即した料金設定というのにも必要と考えるが、無理・無駄・ムラの無い行政サービスについての町長の考えは？

公共料金について現状では値上げは考えていません。しかし、簡易水道・公共下水道事業に関しては一般会計からの繰り入れが必要な運営となっていることから、将来的な水道料金の改定はやむを得ないものと判断しています。サービス自体の変更、取りやめも現状で考えているものはなく、今後も無理無駄のない財政運営を今まで以上にすすめ、出来る限り維持できるよう努めていきます。

質

答

②将来のまちの財政状況の予測は、若い世代ほど永住・定住に関わる要素になると考えるが、直近だけではなく未来の財政推計を町民に何かしらの形で見えるよう提示する考えは？

先の推計になるほど実態とかけ離れることが多くなることが予想され、かえって混乱をまねく恐れがあることから、R8 年度からは、5 年サイクルで 5 年先の財政推計を作成、公表していくこととなっています。しかし、長期予測は財政にとっても町民にとっても重要であると理解していますので、今後の課題として検討していきます。



質

答

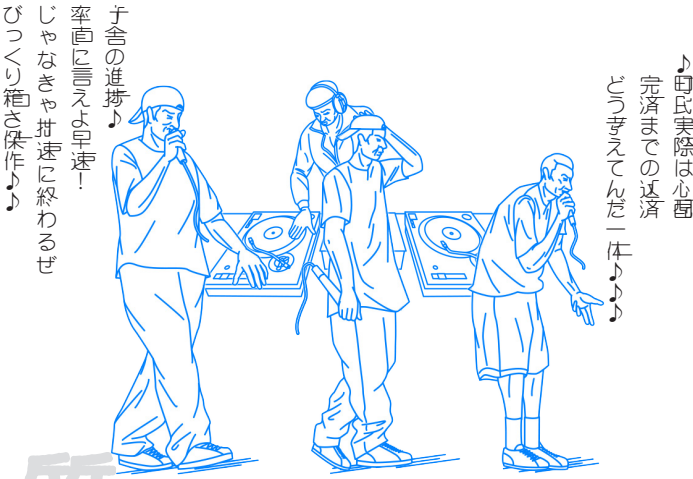
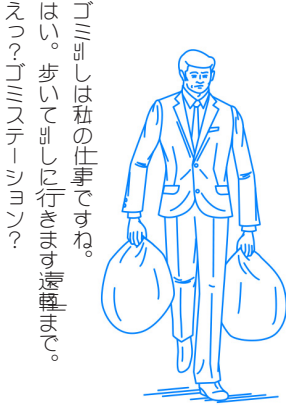
ふるさと納税額上位の自治体ではホタテが返礼品であるところもありますが、懸念されている通り現在様々な社会情勢もあり原材料の確保に苦慮している話も聞きます。本町の場合、1 番人気で寄附額の約 40% がバターですが、新たな返礼品の開発にも取り組み、今後悠林館の宿泊を返礼品にする予定で進めています。ご指摘のとおり、約束された財源ではありませんが、今後も長く継続されていくことが見込まれていますので、有効に活用して財源の確保に努めていきたいと考えています。

質

答

ゴミ収集回数の増加について、以前質問した際に検討する旨回答があったが、遠軽地区広域で処理が行われている中、検討の結果・現状において収集回数の増加は期待できるのか？

遠軽地区広域での処理体制が確立し、1 年半経過した結果、燃やさないゴミの量が大きく減っていることから、燃やさないゴミの収集回数を月 2 回から 1 回に減らし、その減らした回数分を燃やすゴミの収集に充てることを来年から実施できるよう、調整していきたいと考えています。収集業者の業務量が最大限の状況に変わりはないことから、限られた範囲での対応となることにご理解願います。



質

答

新庁舎建設により財政が圧迫されるのではないかと心配する町民は少なくない。現在の進捗状況と建設及び解体や移転など関連する全体的な費用の見込額と財源、返済計画はどう予定されているのか？

庁舎の進捗は新庁舎建設検討審議会などにより作成した基本計画書が完成し、この計画に基づき、より詳細を協議し決定していく段階に入っています。決定したものは図面をもとに各部材などの数量の拾い出し作業を行っており、12 月中旬を目処に実施計画の金額が算出される予定です。

町民の不安解消へ  
新庁舎建設の進捗状況  
費用・返済について回答求む！

質

答

見込額は基本計画段階での概算となりますが、庁舎建設に係る金額は 24 億 3,000 万円、外構工事が 3 億 1,300 万円、備品やシステム機器、移転費用については経費を圧縮できるよう協議中であり概要ができましたら報告・周知いたします。

現段階の試算では、令和 9 年度までの工事費見込額を 24 億 3,000 万円とし、全体の 57% を起債対象として借入額 13 億 8,510 万円、内 7 割の 9 億 6,957 万円が交付税補填され実質の負担額は 14 億 6,043 万円となる見込みです。

返済計画は 13 億 8,510 万円の借入とした場合、過疎債で償還期間 11 年間の年平均返済額は 1,470 万円、緊急防災減債事業債で 27 年間の年平均返済額は 1,270 万円であり、重複する返済期間においても合計の返済額は 2,740 万で財政が逼迫するほどの金額にはならないと考えられます。

渡辺一馬 議員

検討する旨回答の今は!?  
ゴミ収集の回数増加  
について問う！





他人事ではなく自分事  
いつ起こっても不思議じゃない災害  
身を守る力を養う教育の現状は？

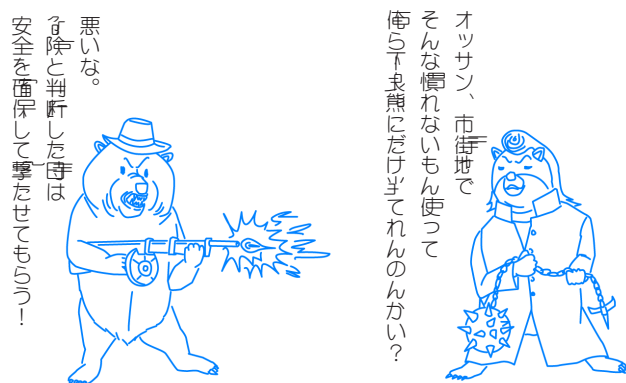
三田真美 議員

質

地球温暖化の影響か、世界的に異常気象や地震、水害、雪害など様々な災害が起こっている。災害が起こった場合にどうするべきか？自分の身を守る行動やハザードマップなどの活用方法、避難所でのマナーや協力しあうことの重要性など総合的に学んでおく必要があると考えるが、学校での防災教育の現状は？



難しい対応・判断となる緊急銃狢  
連携・訓練が必要と考えるが  
今後の町の考えは？



答

近年は特に災害への備えが重要となっており、児童生徒は守られる対象にとどまらず、自らの安全を確保することのできる能力、自ら安全で安心できる社会づくりに参加・貢献できることが求められています。今年度だと小学校ではハザードマップで浸水地域を確認する学習やダンボールベッドの組み立て体験など防災教育として実施しています。中学校では消防署や気象台など他機関との連携による、より専門的な学習を予定しているところです。防災教育に重要な自助、共助、公助の視点をバランスよく取り入れながら教育活動をすすめていきます。



質

熊の生活圏への侵入が多発し、多くの被害が報道されている。法改正により熊などによる人への被害があり、その際の発砲の安全が確認できた場合、市街地でも駆除が可能となる緊急銃狢が自治体で判断可能となった。今後、関係機関との連携や訓練など協議していく段階と思われるが、様々な場合を想定して町民の安全を確保していく必要があるため町の考えを伺う。

答

緊急銃狢は局所的、急な鳥獣の出没による危険性に対して、地域に精通した市町村長が安全確保等の措置を講じたうえで銃狢の実施を判断できるものとなっています。道狢友会の協議会や各関係機関の見解を踏まえ、町狢友会、警察などとの協力体制の構築、協議を行いながら本町のガイドラインを策定し、訓練実施を検討しているところです。また、万が一の第三者等への損害の補償には町が加入している保険に加え、新たな補償保険に加入をし万全を期していきます。

近年の暑さは異常  
避難する避難所が暑くては  
意味が無い！町の対応はいかに？

但木早苗 議員



質

近年の長く続く猛暑から避難所同様、家庭へもエアコンの設置が必要になってきている。本州の自治体だけに限らず、管内の自治体でも設置助成に動きがある中、全国1、2を争う暑さになる本町でも命を守るため、次年度以降にむけてできるだけ早くエアコンの設置助成制度設計に取り組む考えは？

答

要援護者218名に対して行った調査では、110名がエアコンを設置していました。暑さ対策として有効なものであることは承知していますが、既に設置されている方も少なくない中、制度対象又は支援の範囲を考えた場合の公平性から現状では設置に対する助成は考えていません。安否確認等を含め、現行の方法での支援について協議をすすめていきます。しかし、どうしても公平性を保ちながら制度設計できるかについては、今後も継続して検討していきます。

質

年々暑さが厳しくなり、今年は命に関わる猛暑が続いた。町には指定避難所になっている公共施設が30あるが、今回クーリングシェルターとして冷房のある施設は町民センター、福祉センターの2箇所のみで、行くこと事態が難しい方もいたのではないかと？各避難所へのエアコン設置、最低限、若佐コミセン、浜佐呂間活性化センターへのエアコン設置と、学校体育館へ特例交付金を活用した設置についての考えは？

答

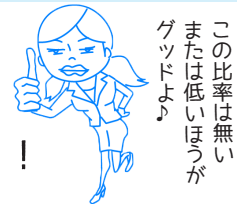
近年の異常な暑さから、その必要性について理解していますが、施設によっては受電設備の改修等多額の費用が必要なこともあり、また、停電時に発電機でも対応できる大型扇風機及びスポットクーラーで当面の対応を考えています。今後、優先順位を勘案して、有利な補助金等の利用も含め複数年計画で各施設への設置を検討しています。



命にかかわる暑さから  
町民を守るために  
次年度に向けた助成の準備を！

決算審査特別委員会が9月17日に開催され、令和6年度佐呂間町決算が報告されました。詳しくは、広報サロマ10月号及びホームページに掲載されています。  
今回は報告を受け認定された決算報告から、行政のチェック機関である議会が、今後注視する必要があると考えられる項目について、ピックアップします。

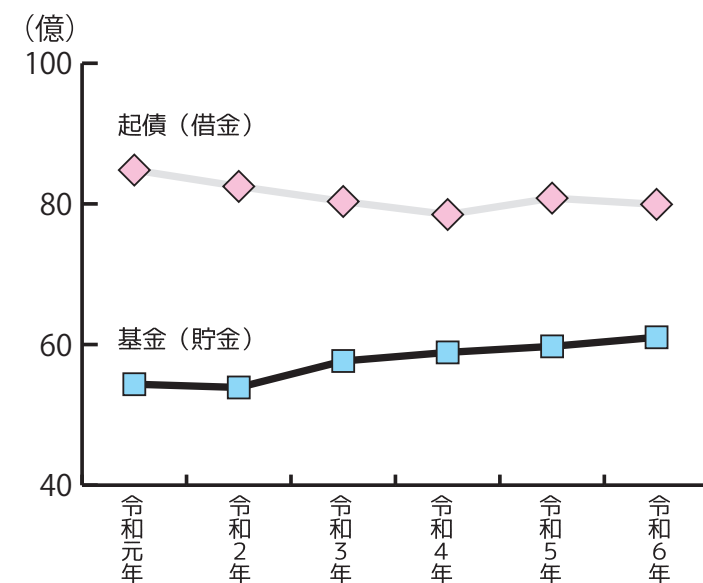
## 財政健全化判断比率・資金不足比率は いずれも早期健全化基準を下回る！



| 財政健全化判断比率 | 比率  | 早期健全化基準 |
|-----------|-----|---------|
| 実質赤字比率    | —   | 15.00   |
| 連結実質赤字比率  | —   | 20.00   |
| 実質公債費比率   | 7.1 | 25.0    |
| 将来負担比率    | —   | 350.0   |

財政健全化判断比率は、実質公債費率を除き赤字額が無く、算定なしとなっています。また、簡易水道、公共下水道の両企業会計においても同様に、資金不足比率は赤字額がなく算定なしとなっています。しかし、この比率には表れてはいないものの、企業会計では一般会計からの繰出金を含めての運営となっていることから、これからの維持費・更新費もかかるため、財源の確保を今から考えていく必要があります。

## 起債（借金）は横ばい。基金（貯金）はゆるやかに増加。 基金は増えればよい?! 増やす目的は？



令和6年度の基金（貯金）は61億311万円、起債（借金）は79億9,349万円でした。令和に入ってから過去の過去5年間を比較してみると、起債では令和元年から減少し、その後は80億前後で推移し、ほぼ横ばいとなっています。町の年間予算は年々増加傾向にありますが、それでも年間予算額よりも多い80億円前後の起債があり、借金を返し終わっても、新たな借金・返済がはじまっていることから増えもしないが、減りもしない状況が伺えます。

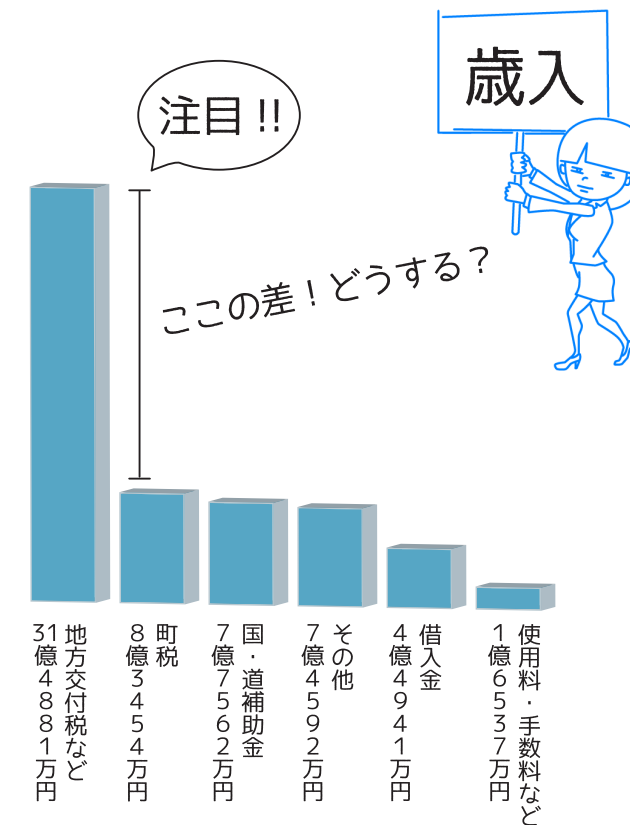
町の貯金と言われる基金は、起債の返済をしながらも緩やかに増加しています。これは、各年度で決算上黒字の余力を基金へ積み立てしているため、増加していることが見てとれます。

起債よりも基金が少ないことは確かですが、現状では返済額が財政を圧迫していないことが重要であり、その中で基金を増加できていることは、評価できる財政運営とも考えられます。

**注目!!** 老後の備えは大事!! 貯金はリタイア後の人生設計、万が一に備えて重要!と考えられることが多いですが、町（行政）も同じでしょうか? 基金はあって悪いものではありませんが、自治体の災害などの万が一は全額ではないにしろ国からの支援があり、リタイアは基本ありません。いきあたりばったりで基金を取り崩すことのないよう、計画的に目的を持った基金の積み立てを行うことで、積み立てを目的とせず、使える予算で施策や事業を展開することも考えなければなりません。

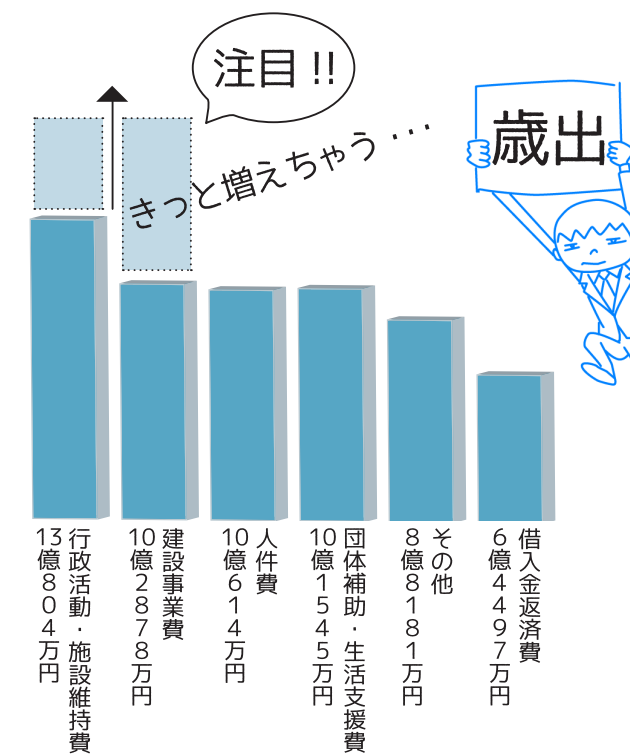


## 町民の皆さんはどう感じるのか?! 議会はどう考えるのか?!



61 億 1,967 万円

佐呂間町の一番の歳入は、地方交付税などで51.5%。二番目の歳入は町税で13.6%です。割合で37.9%、金額では23億1,427万円の差があります。ほとんどの町村が交付税等に財源を依存しているのが現状です。人口を増やす又は出来るだけ減らさないなどの対策により、交付税を多く配分されること、補助金などで有利に起債することも重要ですが、自主財源となる「町税」を増やすことも大切になります。今後、議会では「町税」を増やすため、第一次産業はもちろん、町内民間企業の収入を増やし、法人税収入を上げる、住民の所得向上などに関する行政の施策について注目していく必要があると考えます。町内の活性化により税収も上がるハッピーサイクルを目指して、議会も努力していきます。



58 億 8,519 万円

歳出では、一番額の大きい行政活動費・施設維持費と額の小さい借入金返済費で約倍の差がありますが、その他項目ではほぼ横並びの金額となっています。しかし、現在新庁舎建設が進んでいるように、今後は公共施設の長寿命化も限界となり、廃止や統合・縮小といったことも考えていかなければなりません。新設・解体だけでなく、まだ使える施設や新しい施設も維持していく必要があること、様々な住民ニーズに対応する行政活動においても物価高や人件費高騰が影響することを踏まえると、上位2項目の行政活動費・施設維持費、建設事業費が今後は他項目と差が出るのが予想されます。こうした歳出を出来る限り抑え、効果的で優先度を考慮した事業計画が立てられ、実施されることを議会としては注視していきたいと考えています。



# 活動状況などなど

- 8月2日（土） 自衛隊家族会佐呂間町出身隊員激励会
- 8月6日（水） 若者政治参画ウェビナー
- 8月19日（火） 北海道町村議会議長会議会広報研修会
- 8月20～21日 遠軽地区総合開発期成会中央要望活動
- 9月1日（月） 総務福祉常任委員会
- 9月2日（火） 遠軽地区広域組合議会臨時会
- 9月4日（木） 産業文教常任委員会
- 9月12日（金） 議会運営委員会
- 9月16・18日 佐呂間町議会第3回定例会
- 9月17日（水） 決算審査特別委員会
- 9月30日（火） 初当選議員連絡会議・議会運営協議会
- 10月2～3日 佐呂間町議会第3回臨時会（初議会）
- 10月6日（月） 議長・副議長挨拶まわり
- 10月19日（日） 西興部村開村100周年記念式典
- 10月24日（金） オホーツク圏活性化期成会北海道秋季要望活動

10月2～3日に佐呂間町議会第3回臨時会が開催され、議会提出による議長や各委員会委員長、特別委員会の設置など議会構成が議決されました。また、あわせて町議会議員選出監査委員の同意、一般会計補正予算が議決となりましたのでお知らせします。議会構成にかかる詳細は13ページに掲載しています。

## ★第3回臨時会議決事項

### ○議会提出事項

- ・議長の選出（選挙）
- ・副議長の選出（選挙）
- ・総務福祉常任委員会委員選任
- ・産業文教常任委員会委員選任
- ・議会運営委員会委員選任
- ・議会広報特別委員会の設置
- ・議会活性化特別委員会の設置
- ・町立診療所特別委員会の設置

### ○町提出事項

- ・議員選出監査委員の任命同意（町議会推薦）
- ・令和7年度佐呂間町一般会計補正予算（第3号）  
>500万円の増

## ご尽力に感謝!!

## 退任議員へ感謝状が贈呈されました



佐呂間町の発展のため町議会議員として永きに亘りご尽力され、この度、退任された3名に町から感謝状が贈られました。感謝状の贈呈は、9月18日、第3回定例会終了後に行われ、武田町長から感謝の言葉とともに手渡されました。

## ★退任議員

- ・小松 正義 議員（浜佐呂間：議員歴20年）  
※都合により欠席のため後日贈呈。
- ・土田 剛 議員（北：議員歴13年）※写真右
- ・山内 一弘 議員（大成：議員歴8年）※写真左



# 今回の議決メニュー

## ★第3回定例会議決メニュー

### アンティパスト（前菜）

- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
とタッジャスカオリーブと海老のカクテル

### プリモピアット（最初のお皿）

- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・佐呂間町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正
- ・佐呂間町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正  
を使ったイカ墨のパスタ

### セコンドピアット（2番目のお皿・メイン）

- ・令和7年度佐呂間町一般会計補正予算（第2号）  
>3,526万6千円の増
- ・令和7年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
>92万4千円の増
- ・令和7年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算（第1号）  
>363万円の増
- ・令和7年度佐呂間町公共下水道事業会計補正予算（第2号）  
>67万5千円の増
- ・令和6年度佐呂間町各会計決算認定
- ・健全化判断比率及び資金不足比率について  
のカチャトーラ（狎師風煮込み）

### コントロール（野菜料理・セコンド付け合せ）

- ・教育長の任命同意 ～ 鈴木 毅 氏
- ・教育委員の任命同意 ～ 岡松 直子 氏
- ・監査委員の任命同意 ～ 川瀧 輝夫 氏
- ・情報公開、個人情報保護審査会委員の任命同意  
伊藤雅晃氏、室井隆治氏、榎本 彰氏、池田弥奈氏、五十嵐麻貴子氏  
とカーボロネロ（黒キャベツ）のマリネ

### ドルチェ（デザート）

- ・安全、安心の医療、介護実現のための人員増と処遇改善を求める意見書
- ・国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書  
とピスタチオを使ったジェラート

### 本日のピックアップメニュー 「一般会計補正予算」

補正の内、物価高騰等により低迷する消費需要の喚起と個人消費拡大を図る“プレミアム付全町共通商品券発行事業”は、上期商品券販売数の増加により、当初予算のおよそ98%に達したため、当該事業補助金を236万1千円増額し、それをトマト、タマネギ、鶏肉を煮込んだカチャトーラに仕上げました。

### タッジャスカ (Taggiasche)

イタリアはリグーリア地方西部、特にインペリアで生産される小さめのオリーブ。ジューシーでアーモンドのような独特の甘味が特徴。オイルは酸味が少なく、爽やか。その美味しさから価格は少し高めのおオリーブ。



# トラットリア『さろま議会』

ようこそトラットリア『さろま議会』へ  
トラットリアはイタリアの大衆的な  
レストランや食堂でカジュアルなお店  
対してレストランはちょっと高いお店  
議会は親しみやすくトラットリアでいきますよ

## メニュー

- ・第3回定例会  
議決事項  
9/16～18開催
- ・第3回臨時会  
議決事項  
10/2～3開催



# “住みやすい”・“住みたい”さるまをつくるには？

8月26日当選(任期:令和7年9月30日～令和11年9月29日)となった議員に、住みやすい・住みたい佐呂間町に何が必要か、または現状の課題は何かを聞きました！各議員が何を考え、議員としてどう取組んでいくのか。その一部をご紹介します。

面  
栄  
次

有言実行

Answer

景観の良いまちづくりのために、開発局・建設管理部・佐呂間町観光協会との連携を密にして、国内第三位を誇る雄大なサロマ湖を一望できる展望台までの車道について、交互交差できるように協議したい。

地域おこし協力隊を活用するなど、町外での葬儀が大半の現状を町内消費拡大のために改善策を協議したい。

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼①人口減少に伴う議員定数の削減。10→9名に減少する。②佐呂間新庁舎建設に向け、予算・工期・建設部門の中身の協議等を積極的に参加し耐震強度にも優れた庁舎にすることを目指し良い結果になるよう努力します。③本町も65歳以上の方が大半をしめるようになります。その中でも安心して暮らし、暮らせる町づくりにどう向き合っていくか、これから4年間

三  
田  
真  
美

子どもの声が沢山聞こえる町に！

Answer

短期山村留学や移住生活体験とおして町外から移住・定住していただける人呼び込む施策の実行。空き家や未使用施設の有効活用など官民一体となり、地元住民の協力を得ながら自然豊かなサロマに魅力を感じて住みたいと感じていただくことです。課題では、異世代で交流することで様々な年代が困っていることに関心をもって支援を行っていくことです。

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼新庁舎では住民の利便性を向上できるようにハード・ソフト両面で熟考していくことが重要と考えています。また、各産業の後継者対策や自然災害による影響が大きい農水産業の所得確保及び安定・継続のために国の制度の活用などを駆使し支援を重ねていけるよう尽力します。課題の一つである宿泊客の増加では、サロマの美味しい食材の良さを知ってもらうために、観光に力を入れ商工業の頑張りを後押ししていきます。

但  
木  
早  
苗

住民の声を聞き精一杯頑張っていきます

Answer

“私たちのまち”のことを考える、住民参加のまちづくりを進めていくことで、住みたい・住みやすい佐呂間町を目指していきたいと考えています。特に、自分自身が高齢者になって思うことは、離れて暮らす子どもたちが、「この町なら安心して住んでいてもらえる」と思ってもらえるようなまちに、と、考えています。

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼選挙活動で町民の皆様を示した「くらし・福祉を真ん中に」を軸に、掲げた公約に全力で取組んでいきます。

※上段～住みやすい・住みたいさるまをつくるには又は現状の課題の回答、下段▼～任期中に特に力を入れて取組みたいこと。

渡  
辺  
一  
馬

目標に向かって粛々と進めます

Answer

必要なことは世代によって違うと思いますが、若い世代にとって一番必要な事は安定した雇用の確保につきます。その他では、出産・子育て・教育環境の整備も進んできています。高齢者にとっては、福祉施設の入居枠の拡大が願いでしょう。

住みやすい町ですから、働く所があれば住みたいと思ってもらえるはず。安定した雇用と、産業振興が一番必要だと思います。

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼町議会議員選挙の無投票が続いていること、議員定数が満たされていないことから、議員のなり手不足の解消及び定数削減に向けた議論を深めていきたい。

※右から議長、副議長、監査委員、総務福祉常任委員長、産業文教常任委員長、議会運営委員長の順に掲載。

高  
橋  
紀  
久

日々是進化

Answer

新しき良き佐呂間と  
古き良き佐呂間のハイブリッド

全ての世代が、現在の技術を上手に活用し、これまでの伝統・文化を良いと取りし、お隣さん・ご近所さん・町の人々と、ちょっとウザイくらいにお節的な良好なコミュニケーションがはかれるまちをつくり続けていきましょう！

この町に住む人もそうでない人も、佐呂間に関係する人みんなが、「佐呂間ってイイネ！」と感じ続けることができることです！

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼さらに魅力ある町と

さらに魅力ある議会のために

『楽しくなければ「佐呂間」でない！』を信条に、たくさんの方が「佐呂間って楽しいね！」「佐呂間町議会って楽しみだよね！」と感じてもらえる、毎日がワクワクするための何かを見つけ出します。

みんなが楽しんでこそ「佐呂間町」でありたく、みんなに楽しまれてこそ「佐呂間町議会」であるべく、みんなで「チームさるま」を目指すことができるよう尽力します！

佐  
藤  
昭  
男

全身全霊を尽くす！

Answer

一番の問題は人口減少が進んでいること。人口を増やすためには子育て世代に、佐呂間町独自の給付金を創設すること。

若い世代に移住・定住してもらうためにも、高価な給付金を創設し、生活環境の整備が重要。

- 任期中に特に力を入れて取組みたいことは？

▼基幹産業の後継者が減少するなか、特に農業については新規就農者に対する支援を手厚くすること。

スマート農業に力を傾注し、農地を最大限集約し、土地改良をすすめ、大型機械で農作業が効率的にできるよう、国・道・町の補助金創設に努力する。



# あたらしい議会☆みんなの役割

(令和7年10月3日以降議会構成)



☆議長：佐藤昭男（さとう あきお）

議会の代表者。議会では会議の司会進行の役割を担い、円滑な進行に必要な権限を所持する。各委員会へ所属しないが、全ての委員会へオブザーバーとして出席する。

☆副議長：高橋紀久（たかはし のりひさ）

議長が仕事を行いやすいよう助ける役割。議長の不在時や議長が業務を行えない場合は、議長の代わりに議長の仕事を行う。副議長は分身できると言い張る。

さて、分身だ。  
私は本体、高橋  
RX-78NT。



☆監査委員〔議会選出〕  
渡辺一馬（わたなべ かずま）

監査委員は町、議会とは異なる第三者機関として存在。町（行政）のお金が正しく、効果的に使われているか、手続き（事務）に誤りはないかなどをチェックする。町民の代表である議会議員から選出された監査委員で、町・議会どちらにも属さない代表監査委員と一緒に監査業務を行う。



☆総務福祉常任委員会  
委員長：但木早苗（ただき さなえ）

町の条例、町税、環境衛生や福祉関連など幅広い分野において行政が正しく行っているか事務調査を行ったり、担当する分野でより良い政策について提案できるよう調査・協議・検討を行う。  
・副委員長：高橋（紀）  
・委員：高橋（広）、鈴木



☆産業文教常任委員会  
委員長：三田真美（みた まみ）

町道や上下水道、農業や商業、観光業、教育関係など幅広く行政が正しく行っているか事務調査を行ったり、担当する分野でより良い政策について提案できるよう調査・協議・検討を行う。  
・副委員長：渡辺  
・委員：面、住田

☆議会運営委員会  
委員長：面 栄次（おもて えいじ）

議会開催の際の進行や請願・意見書に関する取扱いについて決定する。議会改革や議会規則など町議会自体に関連する分野を担当。  
・副委員長：三田  
・委員：但木、高橋（広）、鈴木



☆町立診療所特別委員会  
委員長：2 体目 Z 高橋

町立診療所の運営が正しく行われているか、利便性の向上が図られているかなどを調査する。議長を除く全議員が所属。○副委員長：三田



☆議会活性化特別委員会  
委員長：3 体目 ZZ 高橋

より良い議会を目指し、幅広い活動を展開することを目的とする議会の活性化に特化した委員会。毎年議会懇談会を実施している。議長を除く全議員が所属。○副委員長：面



☆議会広報特別委員会  
委員長：4 体目 v 高橋

佐呂間町議会をより知ってもらうため、議会の議決内容や活動についてお知らせする本紙、佐呂間町議会だより「コトコト」の編集・発行を担当する。  
○副委員長：住田  
委員：渡辺、高橋（広）、鈴木



# “住みやすい”・“住みたい”、さるまをつくるには？



鈴木身江子

移住者目線で頑張ります！

Answer

佐呂間町が、より住みやすく魅力的な町となるためには、現在提供されている支援制度や恵まれた自然環境を最大限に活用し、情報発信を強化していくことが重要だと考えます。

- 任期中に特に力を入れて取り組みたいことは？

▼佐呂間町の子ども、若者がどんな未来にしていきたいのか、どんな事に不安があるのかを聞き、行政に訴えていきたいと考えています。



高橋広明

日々勉強、初心忘れるべからず頑張ります

Answer

全国的に見ると2025年問題、年金改定、物価高対策など問題が多くあります。新人議員として勉強しながら、町民一人ひとりが楽しく、元気なまちづくりができるよう微力ながら頑張っていきます。

- 任期中に特に力を入れて取り組みたいことは？

▼高齢化が進み、これからは介護、医療、買物、交通などの諸課題が予想されます。本町でも歩いて買物に行けない地域があり、ふれあいバスがありますが通院・通学がメインのため買物等の目的には不便な運行となっています。こうした問題等に積極的に取り組み、住みやすい地域づくりを行っていききたいと思います。



住田広樹

もっといろんな人とお話したいです！

Answer

日本だけでなく、世界全体がこれまでの価値観とは全く違う時代になってきたと感じています。

これに対応するためには、町もそこに住む人々も変わっていかねばいけません。そうしなければ、これからあつという間に人が足りなくなり、町民の生活に問題が出てくるでしょう。佐呂間は変わるのか。そのことを、次の四年間で見極めたいと思います。

- 任期中に特に力を入れて取り組みたいことは？

▼佐呂間で新しい産業を創出すること。





今回の  
フォーカス

## 佐呂間町役場 新庁舎の進捗状況

今回は、役場新庁舎の進捗状況にフォーカスします。あくまで現段階での予定ではありますが、こんな雰囲気・イメージなんだ～と思って見てください

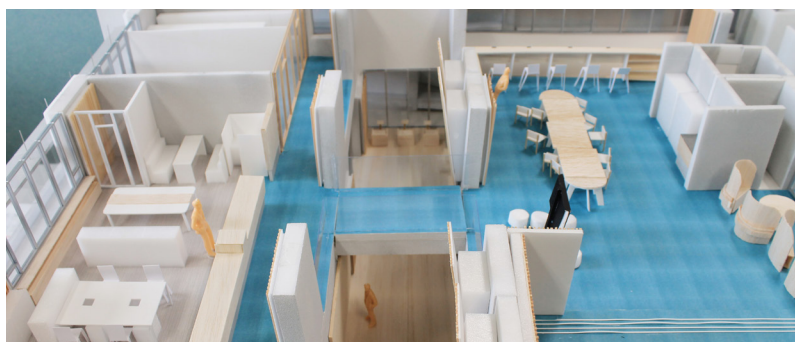


上イメージ図：1階フロア通路の「めるくる」側から正面入口方面を見た場合のイメージ。図の右手（北側）が窓口となる予定。

吹き抜けによる自然光を多く取り込む開放的な空間。上記イメージ図左側、イベント会場にもなる駐車場に面した場所は、フリースペース、健診・検診会場や打ち合わせ場所、町民同士の集い・憩いの場にもなるフレキシブルなスペースとして活用。広めの通路を挟んで、各種住民窓口を設置。令和10年供用開始を予定している役場新庁舎は、住民ワークショップや審議会、検討委員会など幾度もの協議を重ねながら、現段階での1階フロアのイメージ図が上記のようになっています。

現在、実施設計のため建材の種類、色などの選定や建材の数を洗い出し金額算定を進めているところです。算定後は再度、安全性や利便性を確保しながら経費を削減できるよう協議を重ね、最終決定へと進めていきます。

今後も変更が見込まれますので、定期的に進捗状況を広報等で皆さんにお知らせいたします。



写真上：イメージ図の2階部分の模型。通路吹き抜けをブリッジで繋ぎ、左は執務・窓口スペース、右は議場前に予定しているカフェスペース。写真下：外観イメージ。



【編集】 議会広報特別委員会

委員長 高橋 紀久 副委員長 住田 広樹  
委員 渡辺 一馬 委員 高橋 広明  
委員 鈴木身江子

【編集後記】 町議会議員改選後、新しい委員会メンバーで最初のコトコト発行となりました。新メンバーでも発行毎にパワーアップ、改善していく議会だよりを目指していきます。皆さんに発行が待ち遠しいと思っていただけるよう、わかりやすく様々な内容で“まちのこと”をお届けしていきますので、改めてコトコトをよろしくお願ひします。